春闘本格的なたたかいへ

三月下旬に第二次 公労協は反覆半日スト

四日の春闘第一次統一行動突入により春闘の火ぶたがいよいよ切られた。この日、総評、中立労連をふくむ五五〇万の労働者がいっせいに行動に立上ったが、これは昨年の安保闘争いらいはじめての行動である。総評では三月下旬にかけてさらに第二次統一行動、第三次とたたかいの方針を決定しており、いよいよ本格的な春闘がたたかわれる。

東京入りした失業・貧乏なくす大行進

三月四日の総評第一次統一行動は中立労連をふくめ七〇単産五五〇万人が参加して、全国一斉に行なわれた。春闘への火ぶたがいよいよ切って落された。

こんどの第一次行動の目標は、大巾賃上げ、全国一律八・〇〇〇円最低賃金制確立、時間短縮、スト権奪還の要求を前面にたて、物価値上げ反対、社会保障拡充など失業と貧乏をなくす諸要求、および安保破棄をはじめ、平和・中立・民主主義の要求を結合している。

この日の行動は医労協の第三波ストと全鉱の硫酸部門の出荷拒否ストのほかは、職場大会を最低とする時間外拒否、一斉休憩などの実力行使を行ない、官公労はこれに見合う実力行使を各組合の実情のなかで組織した。

なお、この実力行使を大衆行動と結合するため、全国の都道府県では大集会を行ない、中央ではこの日国民大行進が東京入りし、この大行進をむかえて官公労および午前中勤務の民間労組は、東、西、南、北の四ブロックに分かれ、午後一時に集合、二時に行動をおこし日比谷下国会に向けて進中行進を行なった。

民間単産は午後四時日比谷に集合し、官公労の集中行進と合流して国会請願を行なったが、これは昨年の安保の統一行動いらいのことであった。

産業別統一実力行使

総評では四日の第一次統一行動にひきつづき、こんどの闘いのすすめ方をつぎのように決定している

(1)三月中旬を闘争体制確立点検最終期間とする。

(2)三月下旬より四月上旬段階にかけ第二次統一行動期間を設置し全単産はこの期間において、産業別統一実力行使にはいっていく。

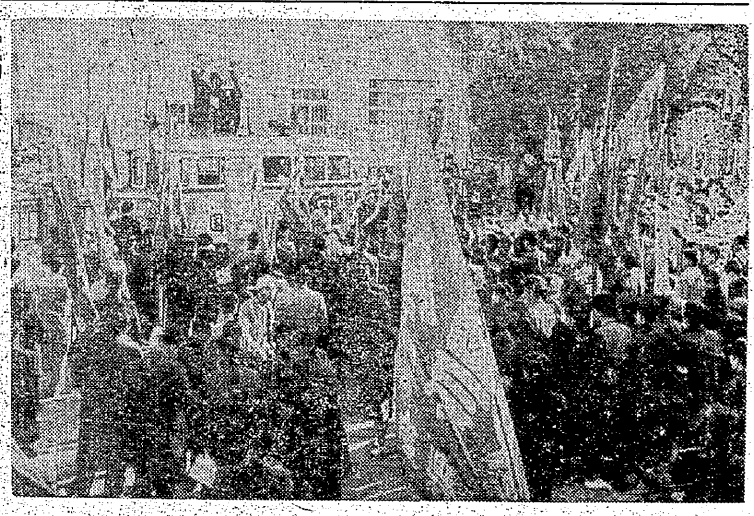
(3)第三次統一行動期間中において賃金闘争未解決の単産は、当然長期的な実力行使の体制へと移行するが、この間院内の最賃闘争の推移、スト権奪還闘争の動き、政府当局の弾圧処分の情況および中小労組全般の賃上げ闘争の推移などとにらみあわせ、これらのたたかいの前進のため四月中下旬さらに五月段階において統一行動を実施する。

政府は挑戦的な態度

民間労組の実力行使とあわせ、こんどの春闘には公労協は強い態度でのぞんでおり、化学とともに春闘の柱となってたたかいをすすめることとなった。

公労協の要求提出について国鉄当局は去る二月十四日「国鉄財政上賃上げには応じられない」などの三項目の拒否回答を出し、小金郵政相も十七日「全逓が半日ストに入れば解雇もありうる」と言明して挑戦的な態度に出てきている。

このため公労協は三月上旬ストライキ宣言を発して、職場大会、順法闘争、超過労働勤務拒否とともにいっせいに統一行動をたかめ、三月下旬いっせいに半日ストをくりかえす予定である。



4日山崎影行団長いか行進団は東京に入った　各地で集会の後

化学四社が焦点

大地評各単産の春闘

春闘大牟田地区の動きは、化学四社合併による三池、東圧、合成の合理化が二つの焦点となっている。すでに三労組の間には、会社の合理化に対処していくための共闘組織として〝合化労連三井系化学三労組合理化共闘会議〟が発足して対策を着々と講じている。

春闘第一次統一行動日の四日には三池労組の時間外職場大会をはじめ、各組合で職場大会をひらいたが、三煙労組では硫酸部門の無期限出荷ストに入った。

【三池】賃上げ四、七〇〇円、時間短縮、最賃制の確立（臨工女子の最低、十五歳の初任給を八〇〇〇円にする）、一月三十日に要求書提出、回答を二月二十七日に求めていたが、いまだ回答なし。

【東圧】賃上げ四、七四六円、時間短縮、結婚祝金二〇、〇〇〇円など。また期末手当（手取り四五、〇〇〇円）も同時に要求している。一月三十一日要求提出、二月二十日の回答を会社は延期した。三月六日スト権確立の大会をひらく。

【合成】賃上げ四、八六〇円、その他時間短縮、住宅手当、退職金、結婚祝金の増額など。同時に完全雇用の要求も提出している。

【電化】賃上げ三、一三二円、その他労働協約の改定を要求して十二月二十三日から交渉に入っているが、進展しないので二月一日から闘争体制に入ったが、第二次回答一、七〇〇円（定昇九〇〇円を含む）が出された。

【三煙】賃上げ四、〇〇〇円、二月十日要求書を提出し、二月二十日が回答日になっていたが、二十日の団交で会社は「社内外の情勢を十分検討しなければならない」との理由で回答を延期してきた。組合は二十五日スト権集約の投票を行ない、三月四日から硫酸部門の送硫係（二名）の無期限出荷ストに入った、一日平均二五〇トンの硫酸出荷がこれでストップされる。

【自労】(1)賃金二六六円引上げ、月二十五日の就労。当面市独自で措置する。(2)生活保護基準を二倍に引き上げる。(3)失対労務者の無権利と低賃金、さらに首切りをねらう政府の来年度予算案に反対、市の態度を明確にし運動をおこす。(4)物価値上げ反対、独占物価の引き上げに反対する市の態度を明確にし運動をおこす。(5)適格基準、認定基準の撤廃、失業者のだれでもたちに失対に登録せよ。(6)拠出制国民年金の改悪と、それが実現できるまで実施を延期せよ。

【国鉄】賃上げ四、〇〇〇円を一月二十六日に要求、民間のトップを切って三月実力行使の統一闘争を準備している。

【合労】最近大牟田で協定されつつある業者間協定では一五〇円一八〇円という失対以下の低賃金である。このような低賃金を打破するため、大単産の最賃の闘いにあわせて、印刷関係を中心に賃上げ、退職金の闘いを組み、二月下旬から闘争に入った

【地公労（県職、教職、市職）】統一要求として暫定手当を最高額に引き上げ本俸繰入れの実施以上の要求を一月二十七日市当局に提出、二月八日第一回団交をもった。

【公企労】国鉄六、六〇〇円、全逓六、四〇〇円、全電通六、八〇〇円の賃上げと、ILO条約批准、スト権奪還をめざして職場を半日ストの反復を準備して合化とともに総評春闘の中心となって闘かう。

最終案を拒否（貝島）

宇部 長期闘争の構え固む

本所組合員が激励

【宇部】二十五日以降無期限ストに入った宇部では、二十七日午後四時から市民館前広場で決起大会をひらいた。当日は、興炭労の仲間をはじめ学校の先生、バスの運転手、車掌さん、さらに地上工業の仲間たち約五、〇〇〇名が参加し、なかでもひときわ〝団結〟のハチまきをしめた興炭労の組合員家族はひきたった。

大会は「みんなの決議」を満場一致で採択し、敵よりも一日長くたたかうのだと固くちかい合った。

二十六日には、三池労組からも本所支部の組合員が話し合って、手弁当で闘争激励にかけつけた。一行は沖の山、西沖、東見初、本山の四指導部に分かれ、班常会に出席して、夜おそくまで座談会をもち、翌二十七日には興炭労本部にあつまって話し合いをつづけ、激励した。

また同日、本所支部七夕分会でも激励にかけつけ、東見初で座談会をもったが、会場はいっぱいの盛況であった。

組合では組織防衛、弾圧にそなえて「特別行動隊」が結成された。

こんどの西闘としては、組織を確立し、警官の挑発から組合員を守る責任をもって積極的に行動することとなり、当面まず全員腕章をつけ、当直を実施することをきめた。

無期限ストに入っていらい、組合では地区の共闘はもちろん、ともに無期限ストでたたかっている員島労組ともオルグの交流など行ない、すでに員島からは三月三日に宇部へ激励オルグが来山、宇部からも翌四日、六〇名の組合員、主婦が闘争激励にかけつけて交流をはじめた。

また、地区では学習会が活ぱつにもたれ、五日、第一次の講師団として九大、九鉱労から四名を迎え学習を推進している。

強い組合員の気合

【員島】二十八日の株主総会は解決の一つの転機といわれていたがこの二十八日、会社は最終案として第六次の回答一人当り三・五七四円（始めの会社提案は五・一〇八円）の賃下げを提示してきた。組合ではこの提案を戦術委員会で検討したが「不満であり断固拒否する」ことを決定、たたかいはもちこされた。

もちろん組合員はあくまで白紙撤回のためたたかい〝たたかいはこれから〟と決意を固めている。

二十八日だけでも員島全坑行動隊五坑採炭夫一、〇〇〇名、二坑採炭職場二〇〇名のデモ隊が鉱業所本社に抗議デモのあと、組合本部に「最後まで頑張れ、われわれもたたかう」と激励の波がつづいたこの組合員の気合いは、会社がいう最終案を拒否する原動力であるとともに、こんどのたたかいの方向を示している。

三月二日、会社は最終案と称した第六次案が拒否されたことについて、泣き言ともつかぬ申入れを組合に行なってきた。

それは「第六次案以上のものを回答することは現状では不可能で、これ以上譲歩すれば、会社はつぶれてしまう」といっているが、組合員の心理的な動揺がねらいである。

無期限ストいらい員島、宇部の組合員は長期スト体制をとり、一万円生活の研究段階から、いまは新生一〇本生活に入っている。今年新入学する子供をもつ親たちは、ランドセルの選択などに胸をいためているといわれ、九炭労では「鉛筆とノートを送る運動」を呼びかけている。

はなしのたね（5）

ストライキ破りと五百円

みんなで山崎さんの労をたたえ貧乏と失業をなくす道をふみしめですすもう。

（もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだーろ汗ー）

二月二十七日、われわれは政策変更の要求をかかげて炭労指令により崩しをねらって第二組合員に増産手当を出すという卑劣さである。

「生産に協力する組合とそうでない組合とに差別があるのは当然である……」という第二組合の幹部もいるようだが、悪質なスト破りのための労働を強制された上で、労働者の団結を崩そうとするねらいをもったわずかの金の支給をよろこぶことが労働者の将来を明るくすることにはならないのはばっきりしている。

会社は、わずかばかりの金で第二組合優遇をみせかけ、労働者の団結を崩し、組合の力を骨ぬきにすることによって利益を追及しようとしているのである。

（つねに会社の攻撃の本質を正しく見ぬいて、不動の団結を堅持しよう）

オタタエテイマス」アナタガ　アルイタミヲヘミンナガ　ススムミライヘノミチデス」ミイケロウソ」シュフカイ

一月二十三日大牟田を出発し東京までのながい道を歩きつづけた「貧乏と失業をなくす国民大行進」が三月四日東京に着いた。その団ンたあと、国会に安保条約破棄、物価値上げ反対などを請願した。

貧乏と失業をなくす国民大行進の先頭にたって歩きつづけた山崎さんの一歩一歩には、三池闘争をたたかい現にいまも差別、切り崩し攻撃の中でたたかっているわれわれの心と、力がこもっていた。

会社は、スト前日の公休日をフルに活用し、増産準備をした上、スト日には第二組合員にひどい労働を強制している。休憩時間も十分にとらせず、ある職場では十二時間もの労働だったという。いわば非常増産体制による政策的な増産だったのである。

これは会社の悪質なスト破りである。加えて三池労組の動揺と切り崩しをねらって第二組合員に増産手当を出すという卑劣さである。

会社は、スト前日の公休日をフルに活用し、増産準備をした上、スト日には第二組合員にひどい労働を強制している。休憩時間も十分にとらせず、ある職場では十二時間もの労働だったという。いわば非常増産体制による政策的な増産だったのである。

これは会社の悪質なスト破りである。加えて三池労組の動揺と切り崩しでわれわれの職場は明るくない。そんなきびしさに耐せずがんばっている中でこの団結駅伝は、明るい抵抗であり、差別切崩し攻撃にたいする明るい反撃だった。

だから会社はその日に限って三池労組員の多くに公休出勤をもちこみ、駅伝の成功をきまたげ団結を崩そうとした。だが、そんなことに動ぜず団結駅伝を成功させた。

（この分会でもみんなの創意で明るい抵抗をくみあげよう。新しい力がわいてくる）

山崎さん ごくろうさん

ヤマサキサンガ　イミチオホ　クロウサンデ　シタ」ミイケノミンナガ　ゼンコクノナカマガ　アナタノロウ

就職対策だより

訓練所入所受付け

荒尾職業訓練所（三月入所）や一般の職業訓練所（四月入所）では三月十日までに入所受付をおこなっています。希望者は各支部に申し出て下さい。

就職希望地、訓練所入所調査について

就職対策部では、現在こんどの就職希望地や職業訓練所入所についての、希望調査を三月十日までおこなっています。また調査をうけていない方は、必らず各支部の職対と話し合って調査に応じて下さい。

今月の公判

九、十、十一日＝福岡刑事一部
十三、十四、十五日＝福岡刑事三部
八、二十五日＝福岡刑事四部
六、七、九、十日＝熊本地裁
二十七、二十八、二十九日＝荒尾簡裁
十六、十七、十八、二十、二十一
二十二日＝全学連
七、八日＝地位保全

【注】福岡刑事一部＝三川鉱事件（35 8、12）港務所事件（34、8、12）三川鉱鉱長室事件（34、8 12）福岡刑事二部＝港務所貯炭事務所、港駅、証人威迫、宮浦脱柵の各事件
福岡刑事三部＝横川事件、三川警到場、新港売店前、四山社宅
新港町三川鉱社宅、四山船津、梅津説得の各事件
大牟田地裁＝三川鉱汽罐場、自転車置場、保安部事件